

第44回全日本バトントワリング選手権関東支部大会

実 施 要 項



開催日	2019年2月9日(土)・10日(日)
会 場	サイデン化学アリーナ (さいたま市記念総合体育館)
主 催	日本バトン協会関東支部

目 次

大会概要	P2
第 44 回全日本バトントワーリング選手権大会 予選の部	P3～P12
第 10 回WBTFインターナショナルカップ予選関東支部選考の部	P13～P19
2019 年 IBTF グランプリ大会予選関東支部選考の部	
各種申し込みについて	P20～P21
支部別出場枠	P22～P23
郵便局払込取扱票	P24

大 会 概 要

【大会名称】 第44回全日本バトントワリング選手権関東支部大会

【開催日時】 2019年2月9日（土）9：30～19：30（予定） 10日（日）9：00～18：30（予定）
 全日本選手権予選の部 準々決勝・準決勝・決勝
 （ソロトワール・トゥーバトン・スリーバトン・ペア・ソロストラット・ダンストワール）
 第10回 WBTF インターナショナルカップ予選関東支部選考の部
 （アーティスティックトワール・アーティスティックペア・アーティスティックグループ）
 2019年 IBTF グランプリ大会予選関東支部選考の部（フリースタイルチーム）

【会場】 サイデン化学アリーナ（さいたま市記念総合体育館）
 〒338-0835 埼玉県さいたま市桜区道場4-3-1
 〈アクセス〉*JR 京浜東北線「浦和」駅 国際興業バス②乗り場より「桜区役所」行き乗車
 →桜区役所下車 徒歩1分
 *JR 埼京線「中浦和」駅 国際興業バス乗り場より「桜区役所」行き乗車
 →桜区役所下車徒歩1分

【主催】 日本バトン協会関東支部

【大会事務局】 〒124-0024 東京都葛飾区新小岩1-42-11 中屋ビル304号室
 TEL/FAX 03-5879-6466 日本バトン協会関東支部

【後援】 埼玉県、埼玉県教育委員会、（公財）埼玉県体育協会、さいたま市、
 （予定）（公財）さいたま市体育協会、NHK さいたま放送局、株式会社テレビ埼玉、
 株式会社 FM NACK5、株式会社埼玉新聞社、一般社団法人日本バトン協会

【主旨】 本大会は、競技バトンの普及発展及び資質の向上を図り、スポーツ芸術・文化の発展
 に寄与することを目的とし、その活動を通して青少年の健全育成と豊かな人間形成に貢
 献する精神のもとに行われる。
 今大会は、第44回全日本バトントワリング選手権大会、第10回 WBTF インターナシ
 ョナルカップ日本代表選考、2019IBTF グランプリ大会日本代表選考に選出するための関
 東支部選考として実施する。

全日本選手権大会 予選の部

1. 出場資格

- (1) 参加者は、2018年11月27日(火)現在、一般社団法人日本バトン協会に2018年度加盟登録をしている関東支部の団体に構成員登録をしていること。
- (2) 複数種目出場者は同一団体から申し込むこと。ペアのメンバーは、同一団体の構成員に限る。
- (3) 参加者は、参加申込書を期日2018年11月27日(火)必着にて事務局に送ること。
- (4) 参加者は、参加費を郵便局備付の払込取扱票にて、2018年11月27日(火)までに振り込むこと。
- (5) 参加者は、参加に際し一般社団法人日本バトン協会2018年度ワッペンを着装すること。
- (6) 同一選手の出場は、6種目の中から2種目までとする。

2. 種目に関する規定

- (1) ソロトワール
- (2) トゥーバトン
- (3) スリーバトン
- (4) ペア
- (5) ソロストラット
- (6) ダンストワール

3. 部門に関する規定 (生年月日)

【ソロトワール】

- | | |
|--------------|---------------------|
| ① 女子U-9 | 2009年4月2日～2012年4月1日 |
| ② 女子U-12 | 2006年4月2日～2009年4月1日 |
| ③ 女子U-15 | 2003年4月2日～2006年4月1日 |
| ④ 女子U-18 | 2000年4月2日～2003年4月1日 |
| ⑤ 女子U-22 | 1996年4月2日～2000年4月1日 |
| ⑥ 女子O-23 | ～1996年4月1日 |
| ⑦ 男子J r U-12 | 2006年4月2日～2012年4月1日 |
| ⑧ 男子J r U-17 | 2001年4月2日～2006年4月1日 |
| ⑨ 男子S r | 1996年4月2日～2001年4月1日 |
| ⑩ 男子A d | ～1996年4月1日 |

【トゥーバトン・スリーバトン】

- | | |
|--------------|---------------------|
| ① 女子U-12 | 2006年4月2日～2012年4月1日 |
| ② 女子U-15 | 2003年4月2日～2006年4月1日 |
| ③ 女子U-18 | 2000年4月2日～2003年4月1日 |
| ④ 女子O-19 | ～2000年4月1日 |
| ⑤ 男子J r U-12 | 2006年4月2日～2012年4月1日 |
| ⑥ 男子J r U-17 | 2001年4月2日～2006年4月1日 |
| ⑦ 男子S r | 1996年4月2日～2001年4月1日 |
| ⑧ 男子A d | ～1996年4月1日 |

【ペア】

- | | |
|--------|---------------------|
| ① U-12 | 2006年4月2日～2012年4月1日 |
| ② U-15 | 2003年4月2日～2006年4月1日 |
| ③ U-18 | 2000年4月2日～2003年4月1日 |
| ④ O-19 | ～2000年4月1日 |

※ 性別区分は行わない。2人の内、年齢が上の選手の部門とする。

※ 補欠は認めない。

【ダンストワール・ソロストラット】

- | | | |
|---|------|---------------------|
| ① | U-12 | 2006年4月2日～2012年4月1日 |
| ② | U-15 | 2003年4月2日～2006年4月1日 |
| ③ | U-18 | 2000年4月2日～2003年4月1日 |
| ④ | O-19 | ～2000年4月1日 |

※ 性別区分は行わない。

4. 準々決勝・準決勝・決勝に関する規定

- (1) エントリー数により大会実行委員会が決定する。

5. 演技順に関する規定

- (1) 大会実行委員会にて抽選により決定する。
(2) 準決勝・決勝進出者の演技順はセット番号の早い順を基本とする。

6. 審査、順位に関する規定

- (1) 審査員長、副審査員長、審査員の人数及び役割は次の通りとする。
- ① 審査員長は審査の円滑な遂行を総括する。
 - ② 審査員は準々決勝・準決勝・決勝共に5名とする。
 - ③ ペナルティ審査員は1名とする。
- (2) 成績は次の通りとする。
- ① 準々・準決勝は各審査員の得点から（10点法小数点第2位まで）ペナルティを差し引き、席次点を上下カットし集計したものとする。
 - ② 複数コートで行う準々決勝においては、各審査員の得点を上下カットし集計したものとし、準決勝進出最終順位が同位の場合は、全員が準決勝に進出する。
 - ③ 決勝は各審査員の得点から（10点法小数点第2位まで）ペナルティを差し引き、席次を上下カットし集計したものとする。
- (3) 順位の決定は次の通りとする。
- ① 複数コートにおいての準決勝進出者は得点の高い順とする。
 - ② 決勝進出者は8位までを基本とする。
席次同点が出た場合は同位者のみ全審査員の席次合計を行い、決勝進出者を決定する。
席次合計同点が出た場合は得点を上下カットしたものを集計、更に同点が出た場合は全審査員の得点の合計を行い、決勝進出者を決定する。
尚、決勝進出最終順位が同点、同席次の場合は全員が決勝に進出する。
 - ③ 各部門共決勝の成績により8位まで順位を決定する。尚、同位者が出た場合は次の手順に従って順位を決定する。
 - (7) 各審査員の得点からペナルティを差し引き、全審査員の席次点合計とする。
 - (イ) 各審査員の得点からペナルティを差し引き、全審査員の点数を上下カットした合計とする。
 - (ウ) 各審査員の得点からペナルティを差し引き、全審査員の点数合計とする。
 - (エ) ①②③の方法によっても尚、同点同次席になった場合は同位とし、次位を空位とする。
 - ④ 決勝を棄権した場合は決勝の最下位とする。

《6 種目の審査は部門にかかわらず下記の 5 つのレベルで評価》

フェア [0.0～2.9]

基本的なトワリングとボディワークの習得レベル

アベレージ [3.0～4.9]

基本から展開が見られるレベル

グッド [5.0～6.9]

3モードでの展開が見られ、バラエティー・ディフィカルティーが見られるレベル

エクセレント [7.0～8.9]

正確で、質の高いトワリングとボディワークに、バラエティー・ディフィカルティーが見られるレベル

スペリア [9.0～10.0]

すべてにおいてバランスがとれ、リスクの高さ・質・難易度共に最高のレベル

7. 表彰に関する規定

(1) 原則として各部門共 8 位まで入賞とし、賞状及び副賞を授与する。

8. コスチュームに関する規定

【ソロトワール／トゥーバトン／スリーバトン／ペア／ソロストラット共通】

(1) 自由 (女子はパンツスタイル不可)

【ダンストワール】

(1) 自由 (小道具・帽子脱着は不可)

9. 競技におけるアクシデントに関する規定

- (1) 大会期間中のアクシデント(体調不良、怪我、演技中にバトンが折れる)について、再演技の判断は、団体責任者・本人・審査委員長・実行委員長が協議し決定をする。
- (2) 再演技を行った場合は、再演技の採点を有効とする。ただし、再演技を行わなかった場合には、演技のした所までを採点対象とする。
- (3) 選手が自分の演技時間に出遅れ、途中から演技を行った場合は、演技の行ったところを採点対象とする。演技コートにいない場合は棄権とみなす。

10. 推薦に関する規定

- (1) 本大会の上位者を関東支部より全日本バトントワリング選手権大会に推薦する。
- (2) 全日本バトントワリング選手権大会推薦の最終順位が、同点・同席次の場合は、再演技にて推薦者を決定する。

《第 44 回全日本バトントワリング選手権大会への推薦者の手続き》

各支部より全日本選手権に推薦された出場者は、参加申し込み用紙に必要事項を記入し登録団体毎にデータで提出すること。

* 申込用紙は一般社団法人日本バトン協会 HP からダウンロードすること。

* 全ての参加申し込み申請の〆切は、2019 年 2 月 25 日(月)17 時までとする。

審査規定／6種目別

【ソロトワール】

1. 演技に関する規定

- (1) 演技人数 ……1名
- (2) 演技に使用するバトン ……レギュラーバトン1本
- (3) 演技スペース ……縦7m×横7mの広さを目安とする
- (4) 課題曲（時間） ……Solo Special（約1分45秒）
- (5) 演技内容 ……1本のバトンを使って技術を競う

ルーティーン構成 以下の組み合わせでルーティーンを構成する。

- ① イントロダクション（オープニング サリュートは自由）
- ② 3モード エアリアル [バーティカル・フラット（ホリゾンタル）]
ロール [バーティカル・フラット（ホリゾンタル）]
コンタクト マテリアル [バーティカル・フラット（ホリゾンタル）]
- ③ エンディング（エンディング サリュートは自由）
※フロアワークは組み入れない方が望ましい。

2. 審査内容

(1) 内容

- ① バラエティー
・3モードのバランス／両手使い
- ② ディフィカルティー
・バトンとボディの困難度／リリース、レセプション、リードイン、フォロースルー、コネクション

(2) 実施

- ① テクニック
・バトンの正確さ／ボディワークの正確さ／バトンの熟練度・質／ボディワークの熟練度・質／リズム・タイミングのコントロール
- ② パフォーマンス&エクスペッション
・プロジェクション（意気込み）／ダイナミックさ／持続性（忍耐力とスタミナ）／自信のある演技／リカバリー能力／観客や審査員に対しての一体感
- ③ スピード
・バトンの回転だけでなく、全体（3モード）を通しての一貫したスピード／スピードコントロール

(3) ペナルティ ※ペナルティ審査員の結果が最終判定となる。

- ① ドロップ 1本につき0.1点減点
- ② 転倒 部分転倒1回につき0.1点減点 全転倒1回につき0.2点減点
- ③ アンダータイム 出遅れ、途中の振り忘れ、曲余り合計32拍を超えた場合0.2点減点（サリュートやエンディングポーズ、ドロップミスによるものは含まれない）

【トゥーバトン】

1. 演技に関する規定

- (1) 演技人数 ……1名
- (2) 演技に使用するバトン ……レギュラーバトン2本
- (3) 演技スペース ……縦7m×横7mの広さを目安とする
- (4) 課題曲（時間） ……Two Baton・Three Baton & Pair Special（約1分30秒）
- (5) 演技内容 ……2本のバトンを使って技術を競う

ルーティーン構成

- ① コンタクト マテリアル（2本のバトンを身体の近くで行うトワール）
- ② ロール（両手を使ったロール。又は空中で1本のバトンが高く、もう1本がロールの組み合わせ）
- ③ ハイ ロー（空中で1本のバトンが高く、もう1本が低いエーリアル。又は1本が高くもう1本はコンタクト マテリアル等の組み合わせ）
- ④ ダブル トス トリック（2本同時に空中ヘトス）
- ⑤ ジャグル（片手で連続的なリリースとキャッチ。例：片手で2本のバトンを交互にトス）
- ⑥ シャワー（両手で連続的なリリースとキャッチ。例：1本のバトンをトスしている間にもう1本をパスして最初のバトンをキャッチ）
- ⑦ コンプレックス トリック（複雑なトリック・リリース・レセプション）

2. 審査内容

(1) 内容

- ① バラエティー
 - ・コンタクト マテリアル／ロール／ハイ ロー／ダブル トス トリック／ジャグル／シャワー／コンプレックス トリック
- ② ディフィカルティー
 - ・バトンとボディの困難度／リリース、レセプション、リードイン、フォロースルー、コネクション

(2) 実施

- ① テクニック
 - ・バトンの正確さ／ボディワークの正確さ／トゥーバトンの熟練度・質／ボディワークの熟練度・質／リズム・タイミングのコントロール
- ② パフォーマンス&エクスペッション
 - ・プロジェクション（意気込み）／ダイナミックさ／持続性（忍耐力とスタミナ）／自信のある演技／リカバリー能力／観客や審査員に対しての一体感
- ③ スピード
 - ・バトンの回転だけでなく全体を通しての一貫したスピード／スピードコントロール

(3) ペナルティ ※ペナルティ審査員の結果が最終判定となる。

- ① ドロップ 1本につき0.1点減点
- ② 転倒 部分転倒1回につき0.1点減点 全転倒1回につき0.2点減点
- ③ アンダータイム 出遅れ、途中の振り忘れ、曲余り合計32拍を超えた場合0.2点減点（サリュートやエンディングポーズ、ドロップミスによるものは含まれない）

【スリーバトン】

1. 演技に関する規定

- (1) 演技人数 ……1名
- (2) 演技に使用するバトン ……レギュラーバトン3本
- (3) 演技スペース ……縦7m×横7mの広さを目安とする
- (4) 課題曲（時間） ……Two Baton・Three Baton & Pair Special（約1分30秒）
- (5) 演技内容 ……3本のバトンを使って技術を競う

ルーティーン構成

- ① カスケード（左右交互に行われるリリースとキャッチ）
- ② シャワー（両手による継続的なリリースとキャッチ）
- ③ ジャグル（片手による継続的なリリースとキャッチ）
- ④ ダブルトスーシングルトス（2本同時に空中へトスし、それとコーディネーションして残りもう1本を続いてトスする）
- ⑤ ハイロー（高いエアーリアルの下でトゥーバトンの技を行うこと）
- ⑥ スタックス（高いエアーリアルの下に低いエアーリアルを投げあげ、その下でコンタクトマテリアルを行う）
- ⑦ トリプルトス（3本のバトンが同時に空中にある状態のこと）

2. 審査内容

(1) 内容

- ① バラエティー
 - ・シークエンスの広がりと変化、それらのミックス／両手使い／コンタクトマテリアル、ロール／パターン、プレーン、ディレクションの扱い方
- ② ディフィカルティー
 - ・密度／リリース、レセプションの困難度／リスク／エアーリアル

(2) 実施

- ① テクニック
 - ・バトンの精密さ、安定度／コレクション／リズム、タイミングのコントロール／バトンとボディのブレンド及びスピード／フォロースルー、パターンチェンジ、レボリューションの正確さ
- ② パフォーマンス&エクスペッション
 - ・エンターテインメント性／持続力&スタミナ／自信のある演技／リカバリー能力
- ③ デマンド
 - ・継続性／同時責任性／ビジュアルトラッキング／空間構成能力

(3) ペナルティ ※ペナルティ審査員の結果が最終判定となる。

- ① ドロップ 1本につき0.1点減点
- ② 転倒 部分転倒1回につき0.1点減点 全転倒1回につき0.2点減点
- ③ アンダータイム 出遅れ、途中の振り忘れ、曲余り合計32拍を超えた場合0.2点減点（サリュートやエンディングポーズ、ドロップミスによるものは含まれない）

【ペア】

1. 演技に関する規定

- (1) 演技人数 ……2名
- (2) 演技に使用するバトン ……レギュラーバトン2本（各1本）
- (3) 演技スペース ……縦8m×横8mの広さを目安とする
- (4) 課題曲（時間） ……Two Baton・Three Baton & Pair Special（約1分30秒）
- (5) 演技内容 ……二人で、バトンとボディワークの調和した技術を競う

ルーティーン構成

- ① ソロトワールと同様であるが、エクステンジなどペア要素を重視したもので構成する。
※二人がソロトワールの同じことを行うだけではなく、ペアの特色を生かした演技をすることに価値がある。

2. 審査内容

(1) 内容

- ① バラエティー
 - ・3モードのバランス／エクステンジ／ペアワーク／フロアパターン
- ② ディフィカルティー
 - ・バトンとボディワークの困難度／シンクロナイズーションの困難度／
 - コーディネーションの困難度

(2) 実施

- ① テクニック
 - ・バトンの正確さ／ボディワークの正確さ／バトンの熟練度・質／
 - ボディワークの熟練度・質／ペアのコントロール／
 - リズム・タイミングのコントロール
- ② パフォーマンス&エクスペッション
 - ・ペアとしての責任／プロジェクション（意気込み）／持続性（忍耐力とスタミナ）／
 - 自信のある演技／リカバリー能力
- ③ スピード
 - ・バトンの回転だけでなく一貫したスピード／二人の統一したスピード

(3) ペナルティ※ペナルティ審査員の結果が最終判定となる。

- ① ドロップ 1本につき0.1点減点
- ② 転倒 部分転倒1回につき0.1点減点 全転倒1回につき0.2点減点
- ③ アンダータイム 出遅れ、途中の振り忘れ、曲余り合計32拍を超えた場合0.2点減点
（サリュートやエンディングポーズ、ドロップミスによるものは含まれない）

【ソロストラット】

1. 演技に関する規定

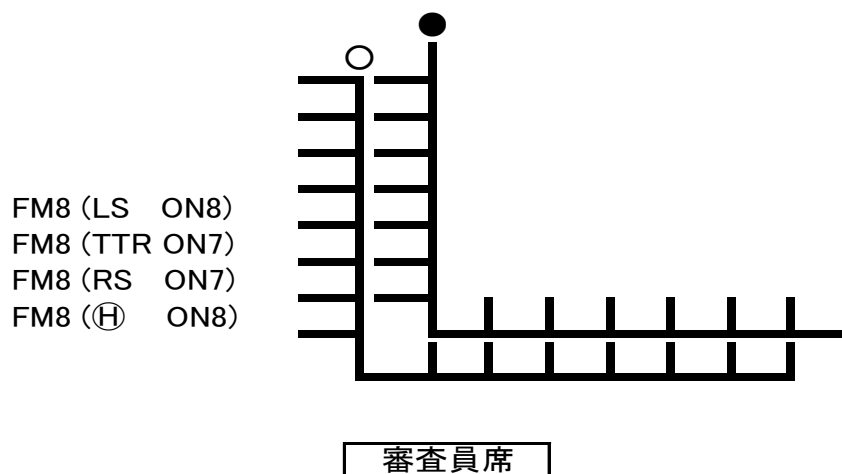
- (1) 演技人数 ……1名
- (2) 演技に使用するバトン ……レギュラーバトン1本
- (3) 演技スペース ……縦10m×横15mの広さを目安とするが、会場によっては若干狭くなる場合もある
- (4) 課題曲（時間） ……栄光へのマーチ（約1分30秒）
- (5) 演技内容 ……マーチのリズムの中で、優雅で気品のあるボディワークとバトンの技術を競う

ルーティーン構成

- ① イントロダクション 8拍
- ② ミリタリーストラット 32拍
- ③ プレゼンテーション 32拍
- ④ フォワードモーション 96拍
- ⑤ エンディング 16拍

構成内容

- ① イントロダクション
 - 振り付けは自由だが、ミリタリーストラットに導入しやすい動作（アテンション・サリュート等）
- ② ミリタリーストラット（ダブルL字ストラット）
 - 足の動き …… 審査員に向かってベーシックストラット（腿は、床と平行になる）で8拍前進、8歩目（右足）を踏み出すと同時に右足を軸にして左に90度方向変換、新方向へ左足より7拍前進、7歩目（左足）を踏み出すと同時に左足を軸にして右廻りで180度方向変換、右足より8拍前進、8歩目（左足）を踏み出すと同時に左足を軸にして右に90度方向変換、審査員を後ろにし、8拍前進、9歩目で右足を左足に揃える。



- 右手はビートタイム（拍子をとる）〔指揮杖でバンドを指揮するような動作〕
- 左手は、指を揃えて左腰におく
- 足は、ベーシックストラット
- 背中はずっと正面（進行方向）を向く 顔は引き締める

- ③ プレゼンテーション
 - 自由に表現できるセクション
- ④ フォワードモーション
 - ビートに合わせてパレードを先導するように前進しながらバトンと優雅なボディワークを組み合わせ、フロアをデザインするセクション
- ⑤ エンディング
 - 全ての終わりを示し、自由に表現できるセクション

3. 審査内容

(1) 内容

- ① イントロダクション・ミリタリー ストラット
 - ・ビートタイム／ミリタリースタイル／ベーシックストラット
- ② プレゼンテーション・エンディング
 - ・バトンとボディのバラエティー／ディフィカルティー／オリジナリティー
- ③ フォワードモーション
 - ・バトンとボディの組み合わせのバラエティー、ディフィカルティー／バトンとボディの組み合わせのオリジナリティー／フロアデザイン

(2) 実施

- ① テクニック
 - ・バトンとボディの調和と正確さ／シャープさ、柔軟性、優雅さ／リズムのとり方／ボディコントロール
- ② パフォーマンス&エクスペッション
 - ・パレードを先導する演技／アピール性、自信／リカバリー能力
- ③ アウトオブステップ
 - ・フォワードモーションにおける足踏みの誤りを指し、奇数は左足、偶数は右足でステップする。両足は1拍までとする。
例：ダブルイリュージョンはステップを踏み変える事

(3) ペナルティ ※ペナルティ審査員の結果が最終判定となる。

- ① ドロップ 1本につき0.1点減点
- ② 転倒 部分転倒1回につき0.1点減点 全転倒1回につき0.2点減点
- ③ アンダータイム 出遅れ、途中の振り忘れ、曲余り合計32拍を超えた場合0.2点減点
(サリュートやエンディングポーズ、ドロップミスによるものは含まれない)

【ダンストワール】

1. 演技に関する規定

- (1) 演技人数 ……1名
- (2) 演技に使用するバトン ……レギュラーバトン1本
- (3) 演技スペース ……縦10m×横15mの広さを目安とするが、会場によっては若干狭くなる場合もある
- (4) 課題曲（時間） ……輝きの時（約1分34秒）
- (5) 演技内容 ……バトンとダンスワークのブレンドが、音楽に調和した技術を競う

ルーティーン構成

- ① 音楽のテンポ、リズム、フレーズに合わせ、曲想表現ができるよう、様々なダンスワークとバトンをブレンドし構成する。

2. 審査内容

(1) 内容

- ① コレオグラフィー
 - ・バトンとダンスワークの組み合わせ／音楽に合った構成・振り付け／チェンジオブペース／フロアの使い方・ステージング
- ② バトンとダンスのブレンド
 - ・バトンのバラエティー・ディフィカルティー／ダンスワークのバラエティー・ディフィカルティー／バトンとダンスのコンビネーション／シリーズのディフィカルティー／オリジナリティー

(2) 実施

- ① テクニック
 - ・バトン・ボディの正確さ・明確さ／動きの熟練度・質／リズム・タイミング／音楽との関わり・調和／ダンスワークの質／ボディコントロール
- ② パフォーマンス&エクスペッション
 - ・ショーマンシップ・エンターテインメント性／自信

(3) ペナルティ ※ペナルティ審査員の結果が最終判定となる。

- ① ドロップ 1本につき0.1点減点
- ② 転倒 部分転倒1回につき0.1点減点 全転倒1回につき0.2点減点
- ③ アンダータイム 出遅れ、途中の振り忘れ、曲余り合計32拍を超えた場合0.2点減点（サリュートやエンディングポーズ、ドロップミスによるものは含まれない）

第10回WBT F インターナショナルカップ予選関東支部選考の部 2019年IBTFグランプリ大会予選関東支部選考の部

1. 出場資格

- (1) 参加者は、2018年11月27日(火)現在、一般社団法人日本バトン協会に2018年度加盟登録をしている関東支部の団体に構成員登録をしていること。
- (2) 複数種目出場者は同一団体から申し込むこと。ペアのメンバーは、同一団体の構成員に限る。
- (3) 参加者は、参加申込書を期日2018年11月27日(火)必着にて事務局に送ること。
- (4) 参加者は、参加費を郵便局備付の払込取扱票にて、2018年11月27日(火)までに振り込むこと。
- (5) 参加者は、参加に際し一般社団法人日本バトン協会2018年度ワッペンを着装すること。
- (6) 全日本選手権予選の部と重複エントリーができる。

2. 種目・部門・年齢に関する規定

- (1) 種目は以下の通りとする。

- ① アーティスティックトワール
- ② アーティスティックペア
- ③ アーティスティックグループ
- ④ フリースタイルチーム

- (2) 部門・年齢及び性別に関する規定

※全ての種目は、小学生を除く12歳以上とする。2019年12月31日時点での年齢を示す。

【アーティスティックトワール】

女 子

- | | | |
|---------|-----------------------|----------|
| ① ジュニアⅠ | 2005年1月1日～2007年4月1日 | ※12歳～14歳 |
| ② ジュニアⅡ | 2002年1月1日～2004年12月31日 | ※15歳～17歳 |
| ③ シニア | 1998年1月1日～2001年12月31日 | ※18歳～21歳 |
| ④ アダルト | ～1997年12月31日 | ※22歳以上 |

男 子

- | | | |
|--------|---------------------|----------|
| ① ジュニア | 2002年1月1日～2007年4月1日 | ※12歳～17歳 |
| ② シニア | ～2001年12月31日 | ※18歳以上 |

※男子18歳以上は全てシニア部門となる。

※2019年12月31日時点での年齢を示す。

【アーティスティックペア】

- | | | |
|--------|-----------------------|----------|
| ① ジュニア | 2002年1月1日～2007年4月1日 | ※12歳～17歳 |
| ② シニア | 1998年1月1日～2001年12月31日 | ※18歳～21歳 |
| ③ アダルト | ～1997年12月31日 | ※22歳以上 |

※性別区分無し。2人の内、年齢の上の人の部門

※2019年12月31日時点での年齢を示す。

※1名の補欠を用意することが出来る。(日本代表認定規程に準ずる)

【アーティスティックグループ】

※性別区分無し。

※～2007年4月1日 12歳以上。2019年12月31日時点での年齢を示す。

※10名以上30名以内とし、補欠を用意することが出来る(日本代表認定規程に準ずる)

【フリースタイルチーム】

※性別区分は行わない。

※～2007年4月1日 12歳以上

※2019年12月31日時点での年齢を示す。

※6名以上8名以内とし、正メンバーの半数の補欠を用意することが出来る

但し、IBTFグランプリ大会への補欠登録は2名とする（日本代表認定規程に準ずる）

3. 準々決勝・準決勝・決勝に関する規定

- (1) エントリー数により大会実行委員会が決定する。

4. 演技順に関する規定

- (1) 大会実行委員会において抽選により決定する。
- (2) 準決勝・決勝進出者の演技順は、セット番号の早い順を優先し、種目重複選手を考慮し大会運営本部にて決定する。

5. 審査に関する規定

- (1) 審査員長、審査員の役割は次の通りとする。
 - ① 審査員長は審査の円滑な遂行を統括する。
 - ② 審査員は準々決勝・準決勝・決勝共にアーティスティックトワール／アーティスティックペアは3名とする。
 - ③ アーティスティックグループ／フリースタイルチームは3名とする。
 - ④ アーティスティックグループ／フリースタイルチームにおいて、審判員は1名以上とする。
 - ⑤ 選考に関して
 - (ア) アーティスティックトワール／アーティスティックペアは10点法により採点し、審査員の最高点・最低点を除いた得点合計を集計する。
 - (イ) アーティスティックグループ／フリースタイルチームは100点法により採点し、審査員の最高点・最低点を除いた得点合計を集計する。
 - (ウ) アーティスティックグループ／フリースタイルチームにおいて、ドロップペナルティは行わず、各審査員が総合的に評価して採点する。違反があった場合には、計時/ペナルティシートにて警告するが減点はしない。
 - ⑥ 同点者のみ次の優先順に従って決定する。
優先順1 各審査員の得点より、全審査員の得点合計を集計する。
優先順2 審査員の投票により決定する。
 - ⑦ 出場者数により、準々決勝・準決勝を行う。

6. 音楽に関する規定

- (1) アーティスティックトワール／アーティスティックペア
課題曲 Artistic Twirl & Artistic Pair 1分44秒
- (2) アーティスティックグループ／フリースタイルチーム
自由曲 3分～3分30秒（過不足10秒可）

7. コスチュームに関する規定

- (1) アーティスティックトワール／アーティスティックペア／アーティスティックグループ共通
 - ① スポーツ競技であることを前提に、コスチュームに関する規定は設けない。
- (2) フリースタイルチーム
 - ① スポーツ競技であることを前提に、コスチュームに関する規定は設けない。
 - ② 手のひらと顔を覆うようなものは不可とする。

8. バトン、その他に関する規定

(1) すべての種目共通

- ① バトンのシャフトはどのような色を使用しても良い。演技前にバトンのチェックを行う。
- ② バトンのシャフトに貼るテープはどのような色を使用しても良い。但し、グリップテープはシャフトの長さの1/2までとし、センターから同等に巻くこと。
- ③ グリップテープは隙間なく巻いても、ストライプ状でも渦巻状でも良い。
- ④ テープやテープの類似品以外の、付属品等を使用することはできない。
(視覚的補助及びハンドリング補助の為は可)
- ⑤ 複数人での参加種目では、演技者全員が同じ色や巻き方を同一とすること。
- ⑥ 演技スペースへタオル・パウダー等バトン以外を持ち込んではいない。
- ⑦ 演技中の怪我のための包帯は可。
- ⑧ 必要ならばメガネ可。サングラス・光りものによる顔の装飾、ピアス、アクセサリー類は全て禁止する。
- ⑨ 付け爪、マニキュア等、爪の装飾は全て禁止する。
- ⑩ スポーツ競技であることを前提に、適度なメイクアップは良い、装飾（顔に絵を描いたりすること）は禁止する。
- ⑪ 演技中にバトンが折れた場合等は、事故とみなし再演技する事が出来る。再演技の判断は、団体責任者・本人・審査員長・実行委員長が協議し決定をする。再演技を行った場合は、再演技の採点とする。ただし、再演技を行わなかった場合は、演技をした所までの採点とする。
- ⑫ 演技者が演技スペースへ持ち込めるバトンの数は、1人1本とする。

9. 著作権について

【アーティスティックグループ／フリースタイルチーム共通】

大会参加における著作権は著作権法に基づきこれを遵守すること。

音楽著作権使用許諾のある曲以外（自作曲を除く）は使用できません。

(1) 音楽著作権使用許諾の申請

使用曲には音楽著作権使用許諾の申請が必要です。

- ① 使用曲の音源（全曲）については、各団体の責任において直接版權を持っている出版元音楽使用許諾をとること。
- ② 許諾が下りるまでに日数がかかる場合がありますので注意してください。
- ③ 自作曲の場合は、適用除外となります。
尚、著作権は著作者の死後50年を経ると消滅する事が原則ですが、著作者の著作権の有無はJASRAC（日本音楽著作権協会）の団体管轄支部に直接お問い合わせください。
(使用料等の金額並びに支払方法を提示される事があります。)
大会で使用した曲について万が一版元とのトラブルが生じた場合は団体の責任の下に処理して頂きますのでご承知おきください。

(2) 大会参加手続に関する提出書類

「音楽著作権使用許諾確認書」の提出

- ① 使用許諾の状況により、下記の添付書類の提出が必要です。
 - ア) 条件なしで許諾された
 - 版元より出される確認書の写しまたは各団体で作成した確認書を添付すること
 - イ) 条件ありで許諾された（無料）
 - 元より出される許諾を証明する書類の写しを添付すること
 - ウ) 条件ありで許諾された（有料）
 - 版元より出される許諾を証明する書類の写し及び領収書・振込控等（コピー可）を添付すること
 - エ) 許諾の必要がない（自作曲等）
 - 書類添付の必要なし

尚、「各団体で作成した確認書」又は「著作権を所有している団体が公式の許諾用書式がない場合」には以下を明記の上作成し提出してください。

- 著作権所有の正式団体名
- 住所
- 電話番号／メールアドレス
- 担当者名
- 許諾に関する対応をされた期日

※著作権に関する書類（添付書類を含む）の提出は事前郵送です。

※使用する音源CD-R・録音利用明細書・演奏利用明細書・音楽著作権使用許諾確認書を記入して、2019年1月11日（金）までに関東支部事務局宛に送付のこと。

審 査 規 定	／種 目 別
----------------	---------------

【アーティスティックトワール】

1. 演技に関する規定

- ① 演技 ……1名
- ② 演技に使用するバトン ……レギュラーバトン1本
- ③ 演技スペース ……縦6m×横12mの広さを目安とする。
演技途中、境界線を越えてしまった場合には、審査内容の「空間の利用度」で判断する。
- ④ 演技曲（時間） ……Artistic Twirl & Artistic Pair（約1分44秒）

2. 審査内容

- ① 技術
テクニク／スピード／3モード（エアーリアル・ロール・コンタクトマテリアル）のバラエティー・ディフィカルティー／ボディワークのバラエティー・ディフィカルティー／ディフィカルティー／クリアネス&シュアネス
- ② 芸術
ジェネラルコンテンツ／ビジュアルミュージカリティー／空間の利用度／チェンジオブペース／スキルの要求度／演技の優秀さ／正確さ／エンターテインメントの価値／プロフェッショナリズム

【アーティスティックペア】

1. 演技に関する規定

- ① 演技人数 ……2名
- ② 演技に使用するバトン ……レギュラーバトン1本
- ③ 演技スペース ……縦6m×横12mの広さを目安とする。
演技途中、境界線を越えてしまった場合には、審査内容の「空間の利用・ステージング」で判断する。
- ④ 演技曲（時間） ……Artistic Twirl & Artistic Pair（約1分44秒）

2. 審査内容

- ① 内容
バトンとボディのバラエティー・ディフィカルティー／エクスチェンジ／移動しながらのバントワーリング／両手使い

- ② 実施
滑らかさと流れ／音楽との関わりでの速さ／ボディポジションの均一性／
トスの高さ、回転、リリース&キャッチ／バトンとボディの正確な技術／ペアワーク
- ③ 全体的効果
音楽の解釈とビジュアルミュージカリティ／時間と空間の利用／ステージング／
一貫性と論理的な展開／エンターテインメントの価値／表情と身仕舞い／
プロフェッショナリズム（リカバリー能力、ペアの責任）

【アーティスティックグループ】

【種目の概要説明】

グループ種目における重要ポイントとは、エフェクト（効果）の完成度と明確さ。これを達成するには、フォーメーション、構図、パターン、移動時の動作など、メンバー全員がスキルレベルを同様に習得している事が求められる。これらの技術を基礎とし、音楽表現、テーマ、キャラクターやストーリーをビジュアルエフェクト（視覚的効果）として表現する。

振り付けは自由に行う事が出来、フリースタイルチーム種目のように必要とされる内容を演技に組み込まなくてはならないと言う制約はない。また、演技で使用するスキルをより深く掘り下げるより、ユニゾン（協調性）が重要である。それに伴って演技の明確さや視覚的な主張が大切で、よりエンターテインメント性に富んだ演技種目。

1. 演技に関する規定

- ① 演技人数 ……10 名以上 30 名以内
- ② 演技に使用するバトン ……レギュラーバトン（各自 1 本）
- ③ 演技スペース ……縦 15m×横 25mの広さを目安とし、競技フロアは枠を取り、
口の各ライン中央に印を付ける。
演技途中、境界線を越えてしまった場合には、審査内容の「フロアの利用」で判断する。
- ④ 演技曲（時間） ……自由曲
グループの音楽は各参加者が選択し、CD-Rに録音し、事前に送付すること。CD-R には、種目・部門・曲の長さ（計時）・団体名・選手名を記入しておくこと。
演技曲のスタート（演技開始）とストップ（演技終了）の合図は、演技者が演技スペース内で行うか、又は付添者が音響席にて行うこと。曲の長さ（計時）は、音楽の第一音より最終音までとする。音楽の第一音以前に演技開始のための合図音（1 秒以内）を入れても良いが、計時には含めない。
3 分以上 3 分 30 秒以内（過不足 10 秒可）とする。
- ⑤ 入退場について ……原則として、演技者は、グループ名をアナウンスされてから審査員より見て、右側より入場し、ポジション取りを行い演技を始め、演技終了後審査員より見て、右側より退場すること。
但し会場によりその限りではない。
入退場は、曲（音楽）無しで行うこと。

2. 審査内容

① 全体的効果 40%

最重要点は、完成度の高さ

音楽を生かしたキャラクター、一人一人の役割、個性、グループのスタイル／論理性や信頼性に基づく、優秀な演技／グループならではの幅広く多彩な効果、引き付ける魅力／全体を通してムード、芸術性、視聴覚の一致の維持／フロアの利用、列、タイミング、空間の利用

② コレオグラフィー 30%

プログラムコンセプトの優秀さ（テーマの展開）

作品のドラマチックさと、計算されたバトン・ボディワーク・ステージング・フォーメーションの展開の質／時間やレイヤー（いくつかのパーツの重なりや層）を用いたデザインと構成の質

③ バトン 15%

演技者のレベルに見合ったトワーリング素材／バトンとボディワークのコンビネーション／全員によるバトン熟練度の達成／素材の十分なトレーニング／マスター度

④ ボディ 15%

演技者のレベルに見合ったボディワーク素材／ボディワークとバトンのコンビネーション／全員によるボディワーク熟練度の達成／素材の十分なトレーニング／マスター度

《技術内容の禁止事項》

スピン	・ 1 スピン…リリース&レセプション、ボディも禁止事項なし。 ・ 2 スピン…スタンダードリリースとレセプション。(※1) ボディの禁止事項なし。
エーリアル ジムナスティック	・ 側中・前宙のような空中動作は禁止。
ステーションナリー コンプレックス & トラベリング コンプレックス	・ トスの下で、メジャーボディムーブ (※2) は1回。 ・ その際、スタンダードリリース&スタンダードレセプション。 ・ その他ボディの禁止事項なし。
ダブルエレメント トリック	・ トスを伴うダブル以上は禁止。
ロール	・ コンティニューアスフロントネックロール (手の有無に関係なく) 禁止。 ・ フロントネックフィギュアエイト禁止。 ・ モンスターロール (パーシャルも完成形も) 禁止。
コンタクトマテリアル	・ 禁止事項なし。

詳細：(※1) スタンダードリリースとは、右手と左手のバーティカルサムトス・バーティカルバックハンドトス・水平トス。

スタンダードレセプションとは、バーティカル・水平右手左手キャッチと右手左手グラブ。

(※2) メジャーボディムーブとは、イリュージョン・ウォークオーバー（前・後）・リープやジャンプ・ソッテ・アラベスク・アチチュード・グランバットマン・ソデバスク・トワジュテ・カプリオーレで、約3拍又はそれ以上の拍数のもの。
マイナーボディムーブとは、ホップ・スキップ・シャッセ・ピケ・ステップ・ステップ・クッペ・ソッテなど予備動作やフォローのために使われるもので約2拍のもの。

【フリースタイルチーム】

1. 演技に関する規定

- ① 演技人数 ……6名以上8名以内
- ② 演技に使用するバトン…レギュラーバトン6本から8本（各1本）
- ③ 演技スペース ……縦15m×横25mの広さを目安とし、競技フロアは枠を取り口の各ライン中央に印を付ける。
演技途中、境界線を越してしまった場合は、審査内容の「空間の利用・ステージング」で判断する。
- ④ 演技曲（時間） ……フリースタイルの音楽は各参加者が選択しCD-Rに録音し事前に送付すること。CD-Rには種目・部門・曲の長さ（計時）・団体名・選手名を記入しておくこと。
演技席で行うこと。曲のスタートとストップの合図は演技者が演技スペースで行うか、付添者が音響席にて行うこと。
曲の長さは、音楽の第一音より最終音までとする。音楽の第一音以前に合図音を使用しても良いが計時には認めない。
3分以上3分30秒以内（過不足10秒可）
- ⑤ 入退場について ……原則として演技者は、チーム名をアナウンスされてから審査員の右側より入場し、演技終了後は右側より退場すること。但し会場によりその限りではない。入退場は曲なしで行うこと。

2. 審査内容

- ① 内 容
バトンとボディのバラエティー・ディフィカルティー／エクスチェンジ／移動しながらのバトントワーリング／両手使い
- ② 実 施
滑らかさと流れ／音楽との関わりでの速さ／ボディポジションの均一性／トスの高さ、回転、リリース&キャッチ／バトンとボディの正確な技術／チームワーク
- ③ 全体的効果
音楽の解釈とビジュアルミュージカリティ／時間と空間の利用／ステージング／一貫性と論理的な展開／エンターテインメントの価値／表情と身仕舞い／プロフェッショナリズム（リカバリー能力、チームの責任）
※演技中に演技者は、声を掛け合わないこと。

各種申し込みについて

1. 参加申込

- (1) 参加の希望がある団体は、下記のアドレスにメールにて参加申込書のフォーマットを請求すること。必要事項を入力し 2018 年 11 月 27 日(火)までに大会アドレスまでデータにて提出すること。

大会Eメールアドレス kanto44@tbz.t-com.ne.jp

※著作権に関する書類（添付書類を含む）の提出は事前郵送です。

※使用する音源 CD-R・録音利用明細書・演奏利用明細書・音楽著作権使用許諾確認書を記入して、**2019 年 1 月 11 日(金)**までに関東支部事務局宛に送付のこと。

2. 参加費

- (1) 参加費は郵便局備付けの払込取扱票にて **2018 年 11 月 27 日(火)**迄に振込むこと。
(2) 一度納入された参加費は原則として払い戻しはしない。

① 団体参加費 1,000 円

② 全日本選手権予選の部

ソロトワール 6,000 円

トゥーバトン 6,000 円

スリーバトン 6,000 円

ダンストワール 6,000 円

ソロストラット 6,000 円

ペア 10,000 円

③WBTF インターナショナルカップ予選関東支部選考の部
／IBTF グランプリ大会予選関東支部選考の部

アーティスティックトワール 6,000 円

アーティスティックペア 10,000 円

アーティスティックグループ 30,000 円

フリースタイルチーム 20,000 円

3. 入場券（プログラム付）

前売り券：両日 3,500 円、各日 2,000 円 当日券：各日 2,500 円

（当日券は状況により販売できないこともある）

※ 参加者及び引率者以外は全員入場券を必要とする。（幼児は座席を確保しなければ不要）

※ 参加者は両日入場券不要

4. 引率者（参加申込後、引率者用リボンを送付）

- ・参加者 10 人まで 団体引率責任者 1 名＋引率者 1 名
- ・参加者 11～20 人まで 団体引率責任者 1 名＋引率者 2 名
- ・参加者 21～30 人まで 団体引率責任者 1 名＋引率者 3 名

※ 引率者はすべて入場券を不要とし、10 人増えるごと引率者が 1 名増える。

※ 団体引率者には、プログラム 1 部進呈。

＜大会事務局＞ ※上記 1～4 申込先

〒124-0024

東京都葛飾区新小岩 1-42-11 中屋ビル 304 号室

日本バトン協会関東支部

※質問・問い合わせはEメールにてお願い致します。

Eメールアドレス kanto44@tbz.t-com.ne.jp

5. 課題曲CD

- ・ 2010 年度改訂 6 種目課題曲 CD1 枚 2,160 円
(ソロトワール・トゥーバトン・スリーバトン・ペア・ストラット・ダンストワール)
- ・ 2014 年度改訂 WBTF 課題曲 CD 1 枚 1,080 円
(ショートプログラム・アーティスティックトワール・アーティスティックペア)
※各団体責任者は必ず購入してください。
◆上記申込先 <一般社団法人日本バトン協会> HP より手続きができます。

6. 写真撮影・ビデオ撮影について

- (1) 会場内での写真撮影・ビデオ撮影は禁止とする。
- (2) 業者による記念写真・ビデオは個人の申し込み制とする。
※VTR撮影券の販売は不特定多数の撮影により、二次的被害を防ぐため協会として禁止とする。

支部別出場枠数 (一般社団法人日本バトン協会 実施要項より)

(1) 以下の通りすべて支部推薦とする。

(2) 支部別出場割当枠数は下記の通りとする。

- ① 支部別出場割当枠は過去の支部大会出場人数の割合を元に算出する。
- ② 6 種目の前年度各部門優勝者登録支部に優勝枠として 1 枠追加する。
- ③ 主管支部は開催地枠として 1 枠追加する。
- ④ 支部大会の実情に合わせ、総割当枠は種目毎に自由に分割することができる。ただし、1 部門 7 枠までを上限とする。
- ⑤ 出場者がなく使用できなかった種目は、2 枠を上限として他種目へ振り替えることが出来る。
- ⑥ 決定した割当枠は、2019 年 1 月 15 日までに日本バトン協会へ提出すること。

	北海道	東北	関東	北陸	東海	関西	中国	四国	九州	沖縄	合計
ソロトワール	12	14	41	22	39	45	27	6	40	7	253
			4	1		4+1			1		
トゥーバトン	8	7	17	11	18	25	13	6	27	4	136
				1		5+1			2		
スリーバトン	6	3	19	3	14	20	9	2	15	3	94
			4			3+1			1		
ペア	6	10	18	11	14	13	10	4	19	4	109
			1	1		1+1			1		
ソロストラット	5	9	21	8	15	21	7	3	18	3	110
			1			3+1					
ダンストワール	9	14	23	11	21	19	10	4	25	3	139
			2			1			2		
	46	57	139	66	121	143	76	25	144	24	841

*表の下段の数字は第 43 回の優勝枠及び第 44 回の開催地枠の数が含まれていることを示す

第10回 WBTF インターナショナルカップ・2019 年 IBTF グランプリ大会共通 支部別出場枠

(1) アーティスティックトワール、アーティスティックペア、アーティスティックグループ、フリースタイルチームは支部大会から推薦されること。

(2) 支部別出場割当枠数は下記表の通りとする。

- ① 支部大会の実情に合わせ、総割当枠は種目毎に自由に分割することができる。ただし、各部門の上限を定める。
 アーティスティックトワール 15 名
 アーティスティックペア 8 組
 アーティスティックグループ/フリースタイルチーム合わせて 6 グループ/チーム
- ② 出場者がなく使用できなかった枠数は、他種目へ振り替えることができる。ただし、1 部門（チーム/グループの場合は1種目）2 枠までとする。
- ③ 決定した割当枠は、2019 年 1 月 15 日までに日本バトン協会へ提出すること。

	北海道	東北	関東	北陸	東海	関西	中国	四国	九州	沖縄	合計
アーティスティックトワール	5	6	32	6	21	34	12	6	32	6	160

各部門の上限は15名とする

	北海道	東北	関東	北陸	東海	関西	中国	四国	九州	沖縄	合計
アーティスティックペア	3	3	10	7	14	14	8	3	8	3	73

各部門の上限は8組とする

	北海道	東北	関東	北陸	東海	関西	中国	四国	九州	沖縄	合計
アーティスティックグループ	2	2	4	5	6	6	2	2	2	2	33
フリースタイルチーム											

アーティスティックグループ/フリースタイルチーム合わせて 上限6グループ/チーム

	出場割り当て上限数	移動枠上限
アーティスティックトワール	15	2
アーティスティックペア	8	
アーティスティックグループ/フリースタイルチーム	6	

それぞれの種目での部門の枠数は支部で自由に決められる。ただしそれぞれには上限を設ける。
 種目を越え別の種目に不使用枠を移動できる。ただし1部門（チーム/グループの場合は1種目）2枠までとする。

※関東支部大会においての各種目各部門の推薦人数はエントリー数に応じ、枠数振り分けを理事会で決定し、ホームページにて発表する。

払 込 取 扱 票									
00		口座記号・番号はお間違えのないよう記入してください。							
口座記号				口座番号 (右詰めで記入)				金 額	
001308				359400					
加入者名 日本バトン協会関東支部								備考	
【第44回全日本BT選手権関東支部大会参加費用】									
参加費合計 円									
※切：2018年11月27日（火）									
団体名									
おとこ								日 附 印	
おなまえ								様	
(ご連絡先電話番号)									

各票の※印欄は、ご依頼人様においてご記入ください。

裏面の注意事項をお読みください。（ゆうちょ銀行）
これより下部には何も記入しないでください。

振替払込請求書兼受領証

払 込 取 扱 票									
00		口座記号・番号はお間違えのないよう記入してください。							
口座記号				口座番号 (右詰めで記入)				金 額	
001308				359400					
加入者名 日本バトン協会関東支部								備考	
【第44回全日本BT選手権関東支部大会参加費用】									
参加費合計 円									
※切：2018年11月27日（火）									
団体名									
おとこ								日 附 印	
おなまえ								様	
(ご連絡先電話番号)									

各票の※印欄は、ご依頼人様においてご記入ください。

裏面の注意事項をお読みください。（ゆうちょ銀行）
これより下部には何も記入しないでください。

記載事項を訂正した場合は、その箇所に訂正印を押してください。

この受領証は、大切に保管してください。

払 込 取 扱 票									
00		口座記号・番号はお間違えのないよう記入してください。							
口座記号				口座番号 (右詰めで記入)				金 額	
001308				359400					
加入者名 日本バトン協会関東支部								備考	
【第44回全日本BT選手権関東支部大会前売券申込書兼払込書】									
○前売り入場券（プログラム付）									
両日券 3,500円× 枚＝ 円									
9日券 2,000円× 枚＝ 円									
10日券 2,000円× 枚＝ 円 合計 円									
※参加団体は送料不要（2回目以降は510円負担）									
※切：2019年1月11日（金） 団体名									
おとこ								日 附 印	
おなまえ								様	
(ご連絡先電話番号)									

各票の※印欄は、ご依頼人様においてご記入ください。

裏面の注意事項をお読みください。（ゆうちょ銀行）
これより下部には何も記入しないでください。

振替払込請求書兼受領証

払 込 取 扱 票									
00		口座記号・番号はお間違えのないよう記入してください。							
口座記号				口座番号 (右詰めで記入)				金 額	
001308				359400					
加入者名 日本バトン協会関東支部								備考	
【第44回全日本BT選手権関東支部大会前売券申込書兼払込書】									
○前売り入場券（プログラム付）									
両日券 3,500円× 枚＝ 円									
9日券 2,000円× 枚＝ 円									
10日券 2,000円× 枚＝ 円 合計 円									
※参加団体は送料不要（2回目以降は510円負担）									
※切：2019年1月11日（金） 団体名									
おとこ								日 附 印	
おなまえ								様	
(ご連絡先電話番号)									

各票の※印欄は、ご依頼人様においてご記入ください。

裏面の注意事項をお読みください。（ゆうちょ銀行）
これより下部には何も記入しないでください。

記載事項を訂正した場合は、その箇所に訂正印を押してください。

この受領証は、大切に保管してください。